

佐保台ファームの取組み

稲刈りの鎌の刃音の昂ぶりぬ

10月31日、秋晴れのならやまに子供達の元気な声がこだまする。たわわに稔った稲穂に子供達は目を輝かせる。

慣れない手つきで一株一株刈り進む。稲掛け作業、続いて、コンバインでの脱穀作業を体験した後、運転席に座って記念写真……。満面に笑みを浮かべつつ……。

～ 子供達の感想文を紹介します ～

- ★みんなの力でお米が出来ることが解った。
- ★稲刈りは簡単簡単と思っていたが、以外と難しかった。
- ★毎日普通にごはんを食べているけど、大変なんだ。
- ★感謝の気持ちを忘れずに食事をしなければと思った。
- ★お米の一粒一粒を大切にしていきたい。
- ★足踏み脱穀機の仕組みが理解出来ました。
- ★これからは、ご飯は絶対に残さない。
- ★稲の株が日数が経つにつれて大きくなっていたのを見た時、とても嬉しかった。
- ★いつも給食で味がないように感じたお米が、今では違うような気がします。とてもお米が食べたくくなりました。
- ★生のお米を食べてみるとコリコリして、ちょっと甘かった。
- ★毎日、佐保台ファームの水田を世話してもらい、とても嬉しかった。有り難うございました。
- ★コンバインに乗れた時が一番嬉しかったです。
- ★機械だけではなく、人の手が加わり、美味しいお米が作られていることが解りました。



(鈴木末一)

くろかみやま自然塾・芋掘り

2013.10.27

前日までの、台風週間も過ぎ去り、天候に恵まれ、芋掘りのイベントが始められました。



参加者は、くろかみやま自然塾 71名(こども=59名・大人=12名)ならやまスタッフ19名の総合計90名の芋掘り作業でした。

黒髪山キャンプフィールドより、6班編成で列を崩さず元気一杯で我がベースキャンプに来られました。お迎え後、即芋掘り作業開始です。いも畑では、鈴木さんより手順説明を受け、期待していた芋掘りが始まりました。初めての体験の子供達が多く見受けられ、土の中より顔をだす芋に感嘆の声が周辺で起こっていました。今回は、大物が目立ちました。多いに楽しんでいただいたと思います。芋掘り後、石拾い作業も楽しんでいただきました。参加者・スタッフ短い時間でしたが、事故・けがもなく終わる事が出来ました。ご苦労さまでした。

……感想をいただいたところ……

子供達は、芋のつるから大きなお芋が4つ5つと付いて出てきてびっくりしたと感想をいただきました。

(田中 修)

